

問題を解決できるスキルを目指す方へ

IEr 養成 入門コース

日時 2024年 6月 6日、7日(木金) 13日、14日(木金) 計4日間

会場 東京・平河町近辺の会議室

講師 成蹊大学 名誉教授 渡邊 一衛 氏
 東京都市大学 特任教授 斎藤 文 氏
 福島大学 准教授 笥 宗徳 氏

IE手法を駆使して、模擬作業を改善するグループ演習で
すぐに使えるIE手法を体得

- 将来のプロフェッショナルなIErを育成するための入門として、作業や工程における問題点が解決できる手法を学びます
- 単なる講義による知識習得ではなく、演習と事例により、すぐに使えるIE手法を、分かり易く体得 します
- 最終日に「修了証」を授与します
- 対象： 若手エンジニア、生産革新・改善活動のリーダー、間接業務効率化推進担当、現場監督者 など



改善演習：小物部品の組立作業



問題の認識
と明確化



現状分析
手法

<人・モノ・設備>
稼働分析 製品工程分析
流れ線図
連合作業分析(MMチャート)

<作業者>
動作研究 作業者工程分析
時間研究 など



改善案の
作成・実施

現状の問題を発見、分析的・設計的アプローチで問題を解決、その基本を学びます

「IE・経営工学」は、経営上の問題を発見して解決するためのマネジメント技術です。
IEを活用することで、企業や組織、社会の課題解決が期待できる、広く役立つものなのです。

(実践IEの強化書 日刊工業新社 はじめに より 斎藤 文 先生)

IEの面白さである「最適解を早く、正確に導く方法論」が、実際に企業や社会で役にたつと感じていただけるよう、基礎から講義いたします。皆さまのご参加をお待ちしております。

プログラム ※ 内容や順序は当日変更になることがあります

1日目 10:00~17:30

1	問題解決プロセスとIEの考え方	2	管理技術	生産性のグラフ化
3	問題の範囲と改善案の関係	4	工程分析の意義と考え方	仕事の構造分析
5	連合作業分析の意義と考え方			グループワークサンプリング演習

2日目 9:30~17:30

6	時間分析の意義とその手順	7	「ファイル綴じ作業」改善演習	
8	演習結果(改善案)の発表と講評			グループ改善演習(1)

3日目 10:00~17:30

9	動作分析の意義と手順・動作経済の原則	10	「小物部品の組立作業」改善演習	
11	演習結果(改善案)の発表と講評			グループ改善演習(2)

4日目 9:30~17:30

12	稼働分析の考え方	13	標準作業と標準時間の意義と考え方	ペアピンボード演習
14	流動数分析の意義と考え方	15	質疑まとめ	★ 終了証 授与

※ 筆記用具、電卓、30cm定規 をご持参ください

	IE入門コース (年2回開催)	実力養成コース (1月開催予定)
標準化・歯止め		◎
ライン設計		◎
システム改善	△	◎
作業・工程改善	◎	◎
改善の方向付け	◎	◎
問題発見・現状分析	◎	○
改善の基盤整備	○	△

受講料

※ 1名様につき 税込み・テキスト代込み

日本ならびに 他地区IE協会会員	日本生産性本部 賛助会員	一般
88,000円	99,000円	132,000円

申込方法

ホームページからお申込みください。 <https://www.j-ie.com/seminar>



日本インダストリアル・エンジニアリング協会
〒102-8643 東京都千代田区平河町2-13-12
TEL 03-3511-4062 FAX 03-3511-4069
E-mail jiie@j-ie.com <https://www.j-ie.com/>

担当
斎藤